

古河歴史見聞録

31文字の恋模様

長塚節と若杉鳥子の相聞歌

バレンタインデーの華やかな装飾があふれる今日この頃。チョコプレートにメッセージカードを添えて想いを伝える人もいるでしょう。しかし、ここは「言葉の幸福」日本。メッセージにもちよつと工夫をしてみても……。

古河公方公園の歌碑

3月には1500本のハナモモが咲き誇る古河公方公園の桃林に、寄り添うように建つ二基の歌碑をご存じでしょうか。一つには、まぐらがの

古河の桃の樹ふゝめるを
 いまだ見ねどもわれ恋にけり
 これは、常総市出身の文豪・長塚節が、ある女性の写真を見て一目惚れして詠んだ歌です。



▲古河公方公園の桃林に建つ長塚節・若杉鳥子の歌碑



▲若杉鳥子 (1892-1937)

もう一つには、歌に詠まれた女性に追悼のために詠んだ歌が刻まれています。

まぐらがの

古河の白桃咲かむ日を

待たずて君はかくれたまへり
 深い追慕の念を感じさせる歌ですが、この相聞歌の主人公——節を魅了した美貌の女性は、古河ゆかりのプロレタリア作家・若杉鳥子なのです。

複雑な生い立ちと文学志向

明治25年、古河の豪商の妾腹の子として東京に生まれた鳥子は、生後まもなく古河で芸妓置屋を営んでいた若杉はなの養女となり、古河に移ります。

少女時代から文学へ高い関心を寄せ『女子文壇』などに詩歌を投稿、選者であった下妻在住の横瀬

夜雨の指導を受けました。ちなみに長塚節が見た写真というのは、友人であった夜雨宅にあった鳥子の写真でした。しかし、鳥子と節が実際に会ったことはなかったようです。

プロレタリア作家として活躍

明治41年、家業を嫌い、文学で身を立ようと上京。新聞記者として働く傍ら、若山牧水主宰の『創作』等に作品を発表します。

大正14年『文芸戦線』に発表した「烈日」でプロレタリア作家として認められ、林芙美子や平林たい子らと社会文芸連盟の結成に参加します。また、昭和2年には、日本文学同人会評議員として上野壯夫、林房雄らと『創作評論』創刊に参画するなど、プロレタリア文壇の第一線で活躍しました。

詩歌、小説、随筆に多くの作品を残した鳥子ですが、昭和12年、持病の気管支喘息(一説では脳出血とも)のため死去、44歳という若さでした。



▲市内横山町にある若杉鳥子文学碑。短編小説「帰郷」の一節が刻まれている

31文字のロマンス

古来より日本人は「言葉」を信じてきました。実際に声に出すことで、現実の事象に影響がある、それは恋とて同じこと。片思いにもがくとき、遠くの恋人を想うとき、恋人と離れ離れになるとき……。そんなとき、しばしば五七五七七の31文字に想いを託し、和歌を詠んだのです。今年のバレンタイン、チョコに和歌を添えてみるのも一興です。

さて、もう紙面が尽きるので、これ以上詳しく書けないのがもどかしく……。冒頭の歌意や若杉鳥子についてもっと知りたい人は、今月のギャラリートークにて。

(詳細は22ページをご覧ください)
 古河文学館学芸員 秋澤正之

図書館の本棚から

【児童/読み物】

父さんのゾウ

ピーター・カーナバス 作
 オリーブは1歳の頃に母親を亡くした。父さんはその悲しみでいつもぼんやりしている。父さんのそばに灰色のゾウがいるように見えるオリーブは「このゾウは父さんの悲しみそのものだ」と考え、ゾウを追い払う計画を立て…。
 出版社…文研出版

【絵本】

ワクチンくんといっしょ

近藤えり 絵
 今日はお母さんと病院に行った。注射をするんだって。元気なのに、どうして注射をするのかな？ なぜ予防接種をするのか、その効果と接種後の過ごし方、毎日の衛生管理や健康管理の大切さを伝える絵本。
 出版社…チャイルド社



三和図書館

【一般書/伝記】

偉人メシ伝

真山智幸 著
 織田信長は「立ち食い」で奇襲に成功!? 葛飾北斎は1日たった2杯の蕎麦で絵を描き続けた!? ローマ皇帝は1日で食費が1億円!? 古今東西の偉人たちの奇妙キテレツな食生活を紹介します。
 出版社…笠間書院

【一般書/小説】

うきよの恋花

周防柳 著
 心中、駆け落ち、不義密通。この恋は、地獄につながっている。江戸時代の衝撃的スキャンダルをまとめた井原西鶴の代表作「好色五人女」を大胆に新解釈した、胸に刺さる悲恋時代小説。『小説すばる』掲載を単行本化。
 出版社…集英社



Another sky



手間暇かけて作ったおいしい乾燥野菜をぜひ、一度食べてみてくださいね。

Name 船橋 冬梅さん
 From 中国
 Age 49歳(来日16年目)
 Job 野菜の乾燥加工者



結婚を機に来日し、今日まで多くの人に出会いました。日頃からお世話になっている古河の皆さんに恩返しのお気持ちを込めて、中国の伝統的手法で作った三日蒸白菜など、さまざまな野菜を乾燥加工して販売しています。農産物が豊富な古河市が大好きです。